

会議録

会議録	平成27年度 第1回豊田市公共交通会議
次 第	<ol style="list-style-type: none">1 開 会2 会長あいさつ3 平成27年度の取組について4 議 事<ol style="list-style-type: none">【協議案件】<ol style="list-style-type: none">(1) 基幹バス車両の最大値変更について<ul style="list-style-type: none">◆豊田・渋谷線(2) 基幹バスの運行回数の変更について<ul style="list-style-type: none">◆下山・豊田線(3) 基幹バスのバス停の移設について<ul style="list-style-type: none">◆さなげ・足助線(4) 地域バスの路線改編等について<ul style="list-style-type: none">◆水源東バス◆下山地域バス(5) 地域公共交通確保維持改善事業について(6) 豊田市公共交通基本計画の見直しについて(7) 基幹バス・地域バスの運賃体系について<ul style="list-style-type: none">◆共通ICカード導入◆通学定期に関する定義の変更【報告案件】<ol style="list-style-type: none">(1) 地域バスのバス停の名称変更について<ul style="list-style-type: none">◆松平ともえ号(2) 各種イベントに対応した運行計画の変更について (豊田おいでん祭り、奥矢作温泉郷花火大会)(3) 平成26年度バスの利用状況について5 その他<ol style="list-style-type: none">(1) エコモビ推進表彰候補団体募集について(2) バス運行事業者選定について(3) 次回、会議の開催予定について6 閉 会

日 時	平成27年6月26日(金) 10:00~12:00
場 所	豊田市役所 東庁舎7階 大会議室1・2
出席者 (敬称略)	<p>【委員】 野田 宏治 (豊田工業高等専門学校) 荻野 弘 (豊田工業高等専門学校) 岩田 明 (国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所) (代理:新見) 古橋 靖弘 (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局) 小久保 信 (愛知県振興部交通対策課) (代理:瀬古) 高嶋 敏博 (愛知県豊田加茂建設事務所) 庄田 元久 (愛知県豊田加茂建設事務所足助支所) 近藤 直人 (豊田市都市整備部) 阿羅 勝彦 (豊田市区長会) 二宮 京市 (豊田市高齢者クラブ連合会) 澤田 恵美子 (豊田市消費者グループ連絡会) 町田 利雄 (豊田市PTA連絡協議会) 加藤 憲治 (愛知県タクシー協会) (代理:鋤柄) 古田 寛 (公益社団法人 愛知県バス協会) (代理:富山) 大久保 彰 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会) (代理:田村) 今川 孝英 (名古屋鉄道株式会社) (代理:平井) 加藤 直樹 (名鉄バス株式会社) (代理:加藤) 境 政義 (豊栄交通株式会社) 安達 雄彦 (愛知環状鉄道株式会社)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課</p>
資 料	1. 次第・配席図 2. 資料1~12:豊田市公共交通会議 平成27年度第1回会議資料 3. 当日配布資料:資料8差替え・おいでんまつりチラシ・徳川家康公四百年祭 記念大会チラシ・エコモビ推進表彰候補団体募集について

(要約)

4 議事

【協議案件】

(1) 基幹バス車両の最大値変更について

◆豊田・渋谷線

- 事務局 資料2に基づき説明。
意見等なし。

(2) 基幹バスの運行回数の変更について

◆下山・豊田線

- 事務局 資料3に基づき説明。
- 委員 補足として当路線については、地域間幹線系統なので、愛知県バス対策協議会の協議対象だが、6月11日に開催された同会議で事前に豊田市から情報提供があったため、今回承認されれば変更した計画を国に提出予定である。

(3) 基幹バスのバス停の移設について

◆さなげ・足助線

- 事務局 資料4に基づき説明。
意見等なし。

(4) 地域バスの路線改編等について

◆水源東バス

- 事務局 資料5に基づき説明。(地域支援課)
- 委員 利用者が少ないとの事だが、少数でも利用はあるのではないか。
- 事務局 年間1名程度の利用であり、運営協議会と協議した結果、効率的な運行の面から廃止を決定した。

◆下山地域バス

- 事務局 資料6に基づき説明。(下山支所)
- 委員 廃止バス停「中央集会所前」についてだが、そもそも集会所の所有は地域住民なのか市の所有なのか。
- 事務局 自治区の所有である。
- 委員 地域の所有であれば、まずは集会所の利用促進があるべきではないか。またデマンドバスについては、バス停は残しておいても良いのではないか。
- 事務局 運営協議会として、バス停を無計画に立てることは考えていない。これまで中央集会所を使うような利用促進の努力もしてきたが、効果が見られなかったため廃止に至った。同じような条件のバス停でも、利用者ゼロから利用促進によって30人利用が発生した箇所もある。そのような中で、努力によっても結果の出ないバス停について廃止することで決定した。

(5) 地域公共交通確保維持改善事業について

◆平成28年度地域内フィーダー系統確保維持計画

- 事務局 資料7に基づき説明。
意見等なし。

(6) 豊田市公共交通基本計画の見直しについて

- 事務局 資料8に基づき説明。
- 委員 バス停の設置基準について意見したい。バス車両はバリアフリーの対応をしているがバス停の位置が悪く、停車したバスとの乗降に不便だというケースもあるので、本計画を策定するにあたっては、土木系の課とも調整を諮りながら検討してほしい。
- 事務局 計画策定の推進体制にも挙げてあるように、庁内の策定部会には土木系や福祉系の課も入っているので、漏れなく協議していきたいと考えている。
- 委員 個別施策に、「民営路線の位置づけ」とあるが、これまで運賃調整等をしてきた経緯があるが、新しく位置づけがなされるのか。
- 事務局 市が補助金を投入して基幹バスとして位置付けているので、補助金投入の妥当性を評価等で測ることを見据えてここに掲載している。
- 委員 基本方針1の「人々の暮らしやすさ」の中に、買い物に行きにくいような交通弱者の視点等が入っていても良いのではないか。
- 事務局 了解した。引き続き検討を続ける。

(7) 基幹バス・地域バスの運賃体系について

◆共通ICカード導入

◆通学定期に関する定義の変更

- 事務局 資料9に基づき説明。
- 委員 内容が専門的かつ複雑でわかりづらく、詳細な質問は他委員からもおそらく出せないと思うが、料金の詳細については本日の結果を踏まえた上で、愛知運輸支局と調整をしっかりと行ってほしい。加えて定期券等の切り替えのタイミングがあるので、周知をしっかりと行い、利用者に混乱のないよう努めてほしい。
- 委員 「障がい者等区分の追加」について、付添い人の人数制限を設けないのか。民間運行事業者等では基準があると思うが、ICカード導入により現場でトラブルが生じないか懸念される。
- 事務局 民間運行事業者については、人数制限があると認識している。これまでは常識の範囲内ということで、人数制限を設けずにきたが、今後制限を設けることも含めて検討していきたい。
- 委員 定期券について、これまで購入できていた交通事業者等の販売所で購入できなくなるとすると、そこに対しどのようなフォローを考えていて、どのような販売網を想定しているのか。
- 事務局 課題として認識している。なるべくサービスの低下を招かないように、「取り次ぎ」を行う等の方法を現在検討中である。
- 委員 運賃の改定について、愛知県のバス対策協議会に諮る必要が出てくるかもしれないので引き続き情報交換をお願いしたい。

- 委員 地域間幹線系統に該当するのは何路線あるのか。
- 事務局 藤岡・豊田線（西中山経由）、小原・豊田線、藤岡・豊田線（加納経由）が該当する。バス対策協議会に諮る必要があるのかどうか県に確認を取りながら進める。
- 委員 定期が来年度4月1日に半額になるようなケースも見受けられたが、その間をまたぐような定期利用者への対応について、おそらく払い戻しの必要性が出てくるので、利用者への案内と対応を考慮した方が良い。
- 事務局 了解した。利用者に不便のないように努めたい。

【報告案件】

(1) 地域バスのバス停の名称変更について

◆松平ともえ号

- 事務局 資料10に基づき説明。(松平支所)
質問等なし。

(2) 各種イベントに対応した運行計画の変更について

- 事務局 資料11に基づき説明。
質問等なし。

(3) 平成26年度バスの利用状況について

- 事務局 資料12に基づき説明。
質問等なし。

4 その他

(1) エコモビ推進表彰候補団体募集について

(2) バス運行事業者選定について

(3) 次回、会議の開催予定について

- 事務局 次回会議は、平成27年8月頃に開催を予定している。

以上